【4-7 評価シート エビデンス総体】

診療ガイドライン	乳癌診療ガイドライン 薬物療法
対象	高齢者かつHER2陽性原発性乳癌に対 する術後薬物療法
介入	化学療法+抗HER2療法
対照	化学療法のみ

エビデンスの強さはRCTは"強(A)"からスタート、観察研究は弱(C)からスタート* 各ドメインは"高(-2)"、"中/疑い(-1)"、"低(0)"の3段階*** エビデンスの強さは"強(A)"、"中(B)"、"弱(C)"、"非常に弱(D)"の4段階*** 重要性はアウトカムの重要性(1~9)

エビデンス総体						リスク人数(アウトカム率)													
アウトカム	ナザ イン・/	バイ アス リス ク*	非一 貫性 *	不精 確*	非直 接性 *	そ他版イスど*	上昇 要因 (観察 研究)*	類 対 群 母	対照 群分 子	(%)	介入 群分 母	介入 群分 子	(%)	効果 指標 (種 類)	効果 指標 統合 値	信頼区間	エビデ ンスの 強さ**	重要 性***	コメント
全生存期間の改善	RCT/	-1	0	0	-2	0	NA	326			357			HR	0.51	0.37-0.69	弱(C)	9	NSABP B-31/NCCTG N9831のみ 60歳以上
無病生存期間の改善	RCT/ 2	0	0	0	-2	0	NA	601			631			HR	0.64	0.51-0.81	弱(C)	7	60歳以上
毒性																		7	データなし
QOL																		6	データなし

無病生存期間の改善

				Hazard Ratio	Hazar	d Ratio	
Study or Subgroup	log[Hazard Ratio]	SE	Weight	IV, Fixed, 95% CI	IV, Fixe	d, 95% CI	
HERA	-0.3567	0.2855	16.8%	0.70 [0.40, 1.22]		+	
NSABP B-31/NCCTG N9831	-0.462	0.1282	83.2%	0.63 [0.49, 0.81]	-		
Total (95% CI)			100.0%	0.64 [0.51, 0.81]	•		
Heterogeneity: Chi ^z = 0.11, df = Test for overall effect: Z = 3.80		•			0.01 0.1 Favours [experimental]	1 10 Favours (control)	100